



小さな親切

発行 敦賀市東洋町1-1
生涯学習センター内
「小さな親切」運動敦賀支部事務局

TEL : (0770) 25-8318
FAX : (0770) 22-4576
E-mail : chisana.shinsetsu@gmail.com

ご挨拶

12月21日(土)に越前市文化センターにおいて、令和6年度「県民のつどい」(越前支部主管)が開催されました。ご参加いただきました皆様には、年末のお忙しいところ誠にありがとうございました。さて、北陸新幹線敦賀開業から間もなく1年。休日には、多くの観光客がリュックを背負って敦賀駅から出てきます。実は、開業を機に市民である私にも、新たな敦賀の楽しみ方ができました。それは、休日に観光客に交じり999やヤマトのブロンズ像のあるシンボルロードを歩くこと。自分の街なのになぜか観光客気分です。毎週のように新たな敦賀を発見して楽しんでいます。来敦した方々との会話も楽しみ。私のお気に入りのブロンズ像は、佐渡酒造。駅前ですいつでもどっしりと私たちを迎えてくれます。今後も益々敦賀で皆様の交流の輪が広がりますことを祈念して、ご挨拶とさせていただきます。

「小さな親切」運動敦賀支部 副代表 栗城 信市

令和6年度あいさつ運動推進協力校における活動

【敦賀西小学校】



毎朝のあいさつ運動



ハロウィンを楽しみながら、あいさつ

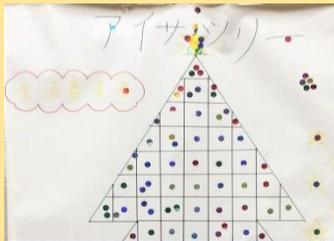
【成果】

目標「つづけよう！笑顔で楽しい 西の子 あいさつ ～いつでも 元気に誰とでも～」のもと、あいさつ運動に楽しく参加する児童が増えた。ハロウィンやクリスマスなどのイベントと重ねて行ったあいさつ運動や、あいさつビンゴなどが効果的だった。

【中郷小学校】



朝のあいさつ運動



あいさつシールでツリーを飾る

【成果】

「元気な心であいさつが飛び交う学校」にするために児童が考え、元気なあいさつができたならツリーにシールを貼るなど、計画し実行できた。児童の進んであいさつをしようとする気持ちを高めることができ、今後も「あいさつ＝人とかかわること」を意識して続けていきたい。

「あったか運動」

「あたたかく思いやりのあるまち敦賀」を目指し、親切・おもいやり・おもてなし等の活動を広げる「あったか運動」を実践する団体に助成しました。「あったか運動」に取り組んだ団体の活動を紹介します。

原村営売店 (大原の里)

<活動内容>・・・「花いっぱい活動」

来場者にコスモスの種を配布し、花の栽培を促進する。種蒔きや除草作業には、多くの家族連れや市民も参加。10月末にコスモス祭りを、看護大学と連携して、にぎやかに盛大に開催した。



一般社団法人「青空」

<活動内容>・・・「子ども食堂運営補助」

こども食堂青空には、毎回小学生から高校生まで約35人が参加し、子どもたちの居場所に。運営側のスタッフには、独居高齢者もあり、高齢者の居場所としても喜ばれている。



地域のために

人のために

「小さな親切」実行章 贈呈運動



(令和6年度:1個人と1団体に贈呈)

「小さな親切」運動本部が発足以来続けている基幹的な活動です。「小さな親切」を行った方や団体に対して、親切を実際に見たり受けたりした方から推薦していただき、実行章(ミニ感謝状)を贈って感謝の気持ちを伝え、地域に思いやりの輪を広げます。

東 哲平 氏 の実行内容

家族で出かけた先で、道路の側に寝ている男性を発見。東氏は放っておけないと感じ、警察に通報し、救援保護を求めた。ほどなく、警官が駆けつけ、その男性は無事保護された。

一連のこの行いを傍らで見えていた東氏の娘さんが、お父さんのこの親切な行動をたいへん誇りに思い、作文に書いた。学校では、この親切な行いを児童たちに紹介し、「小さな親切」について気づいたことを行動にあらわすことのできる素晴らしさについて伝えたいと考え、推薦。お父さんである東 哲平氏に実行章が贈呈されましたので、その作文を紹介します。



令和6年12月に贈呈

お父さんの親切

あずま ひかり

中郷小学校 三年 東 輝

このあいだ、家ぞくみんなでごはんを食べに行きました。ごはんが終わって、車にのって帰ろうとすると、車道のすぐ横の歩道でねているおじさんを見つけました。歩道の石の上に頭をのせてねころんでいました。その日は花火大会だったので、車がとても多くて、車にひかれそうですごくあぶなかつたです。周りには、花火を見に来ていたたくさんのお客さんが歩いていただけ、笑って通りすぎるだけでした。そのとき、お父さんが、「車にひかれそうであぶないから、けいさつに電話しよう。」と言いました。私はけいさつに電話したことがないので、びっくりしました。お父さんがスマホで、けいさつに電話すると、「はい、つるがけいさつしよです。事けんですか、事こですか。」

「どちらでもないのですが、道で人がねていてあぶないので来てもらっていいですか。」

そのあとねているおじさんの服そうや年れいと場所を聞かれました。するとけいさつは、「

わかりました。近くにいますけいさつかんを向かわせます。」

と言われ、電話を切りました。

5分ぐらい待っていると、2人のけいさつかんが歩いて来ました。ねているおじさんに声をかけていると、おじさんが目をあけて立ち上がりました。けがもないようでした。おじさんは、けいさつかんといっしょに歩いて行きました。

わたしは、おじさんがけがをしなくて良かったと思いました。家ぞくみんなも、おじさんがぶじに帰れてよかったと言っていました。おじさんはたぶん、花火を見ておさけをのんで、よっぱらって家とまちがえて道でねてしまったのだと思います。

ほかの人はおじさんを見ても知らないふりをしていただけ、お父さんはすぐにけいさつに電話をして、とても親切だと思いました。お父さんが電話をしなかったら、もしかしたらおじさんは車にひかれていたかもしれません。もしわたしがお父さんと同じ場面になっても、ほかの人と同じように、通りすぎていたと思います。でもお父さんは、「こまっている人を見すこせない。」と言っていました。これからは、わたしもこまっている人がいたら、自分から声をかけて助けることができるような人になりたいと思います。

鳥浜青壮年会(若狭町) の実行内容

愛する地域のために設立以来43年、草刈りやはす川鯉のぼりの設置や年越しそばの振る舞い、廃品回収、神社例大祭の神輿担ぎ、納涼祭の運営、児童公園の芝生化など、力をあわせてふるさとを自らの手で創り出す活動を継続中。観光客も増え、区民や地域住民に笑顔が広がり、頼られる存在として喜ばれている。



令和7年2月に贈呈



令和七年度の啓発ポスター 二月に配布予定
令和六年度標語コンクール知事賞
「ぼくはまだ小さいけれど親切ヒーロー」が掲載されます。